平成30年度 実証実験ルート （みやま市役所山川支所を拠点とした実証実験）

国土交通省

H30．11／2～12／21

延長約6km（片道）

JA
山川支所

JA山川支所
Aコープ

みやま市役所
山川支所

みやま市役所山川支所
げんき館（温泉施設）

市民センター

山川市民センター

みやま市立 桜
舞館小学校

桜舞館小学校

原町地区

原町郵便局

原町郵便局

一般車両への注意喚起
のため、路面標示を設置

自動運転車両が
走行中であることを
知らせるため、
回転灯を設置

自動運転車が
走行中に点灯

付近の車両へ迂回 等
の協力を促すため、
看板を設置

佐野地区

佐野公民館

中原村地区

443

【実験車両】

○ヤマハ製（６人乗り）

【自動運転区間の構造】

○電磁誘導線を敷設、
実験車両を誘導

農作物集荷場（山川みかん）
（上伍位軒公民館）

伍位軒地区

自動運転の走行ルート

一般車両との混在区間

自動運転車専用の区間

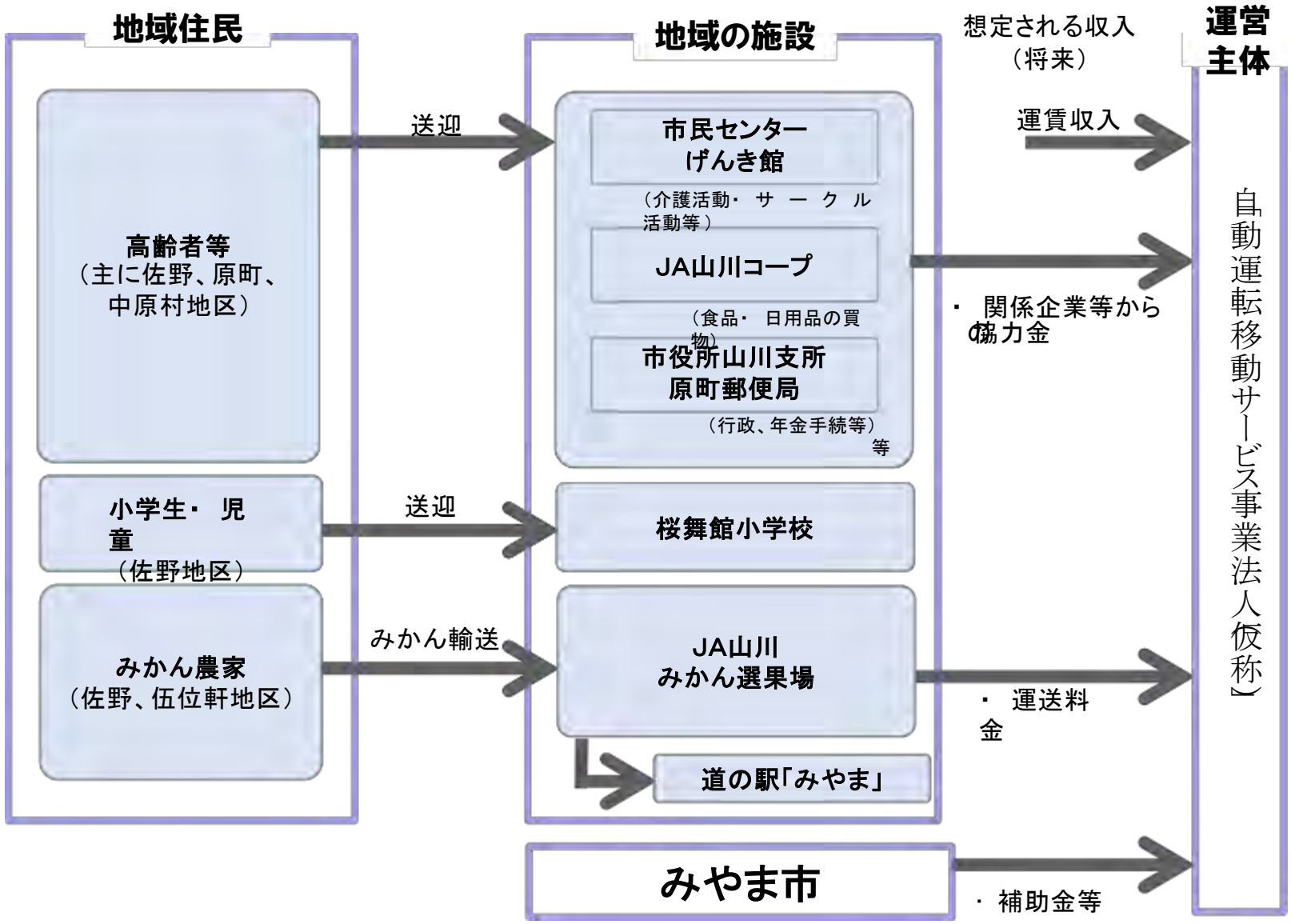
停留所

自動運転サービスの将来のビジネスモデル（案）　（みやま市役所山川支所）

国土交通省

○ 高齢者等の送迎による外出機会（買物等）の増加を通じた関係企業等からの協力金や、介護活動等の実施による自治体からの補助金等による支援

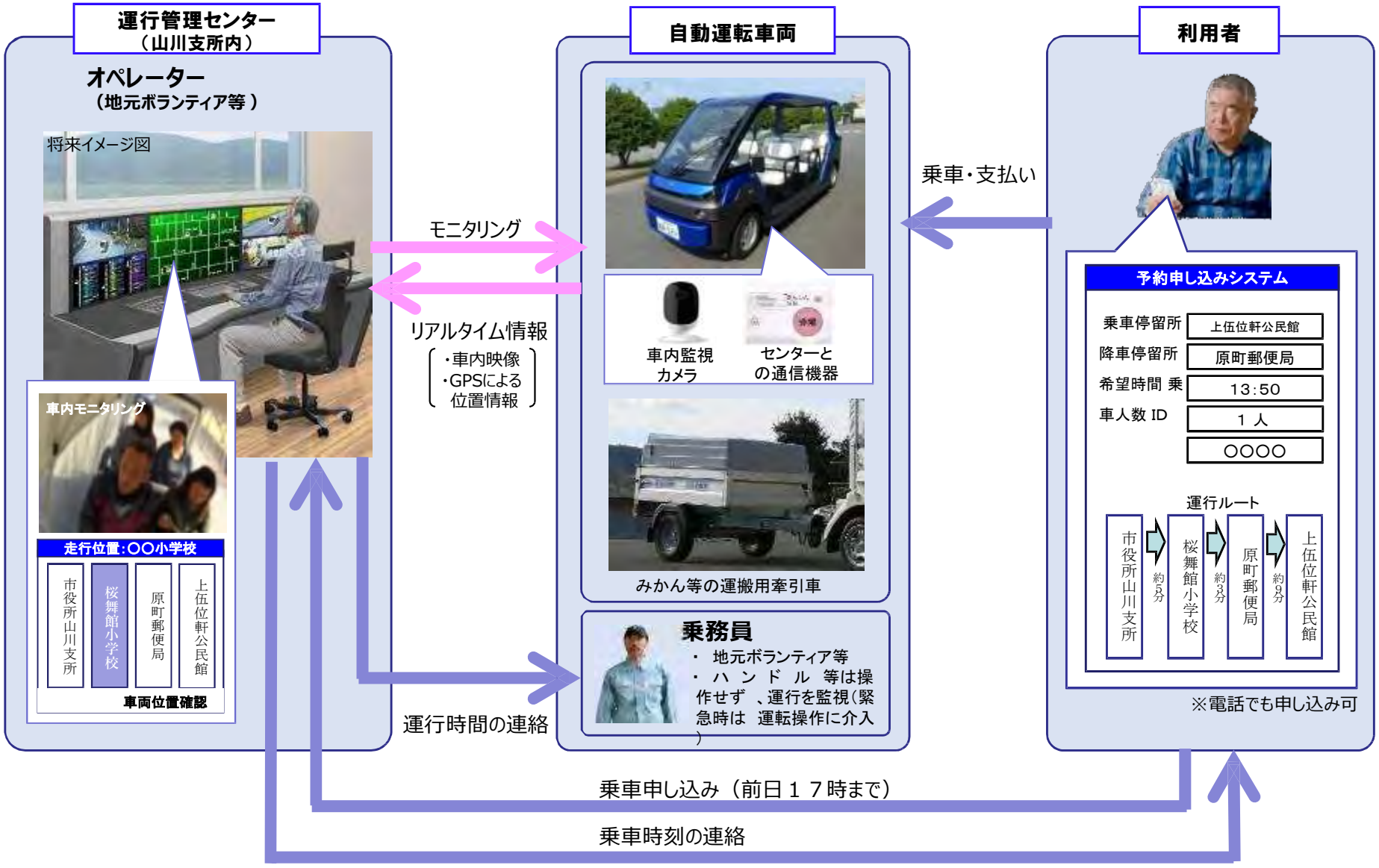
○ 地元特産の「山川みかん」の輸送による輸送料金の徴収



自動運転サービスの運行管理システム （みやま市役所山川支所を拠点した実証実験）

国土交通省

○ みやま市役所山川支所内に運行管理センターを設置、車両からのリアルタイム情報をもとに運行状況をモニタリング。
○ 利用者の申し込みに応じて運行するデマンド運行方式。利用者は、スマホや電話等を通じて乗車を申し込み、運行管理センターが利用者に乗車時刻を連絡。みかん輸送時も同様の方法で運行（運搬用の牽引車の活用）。

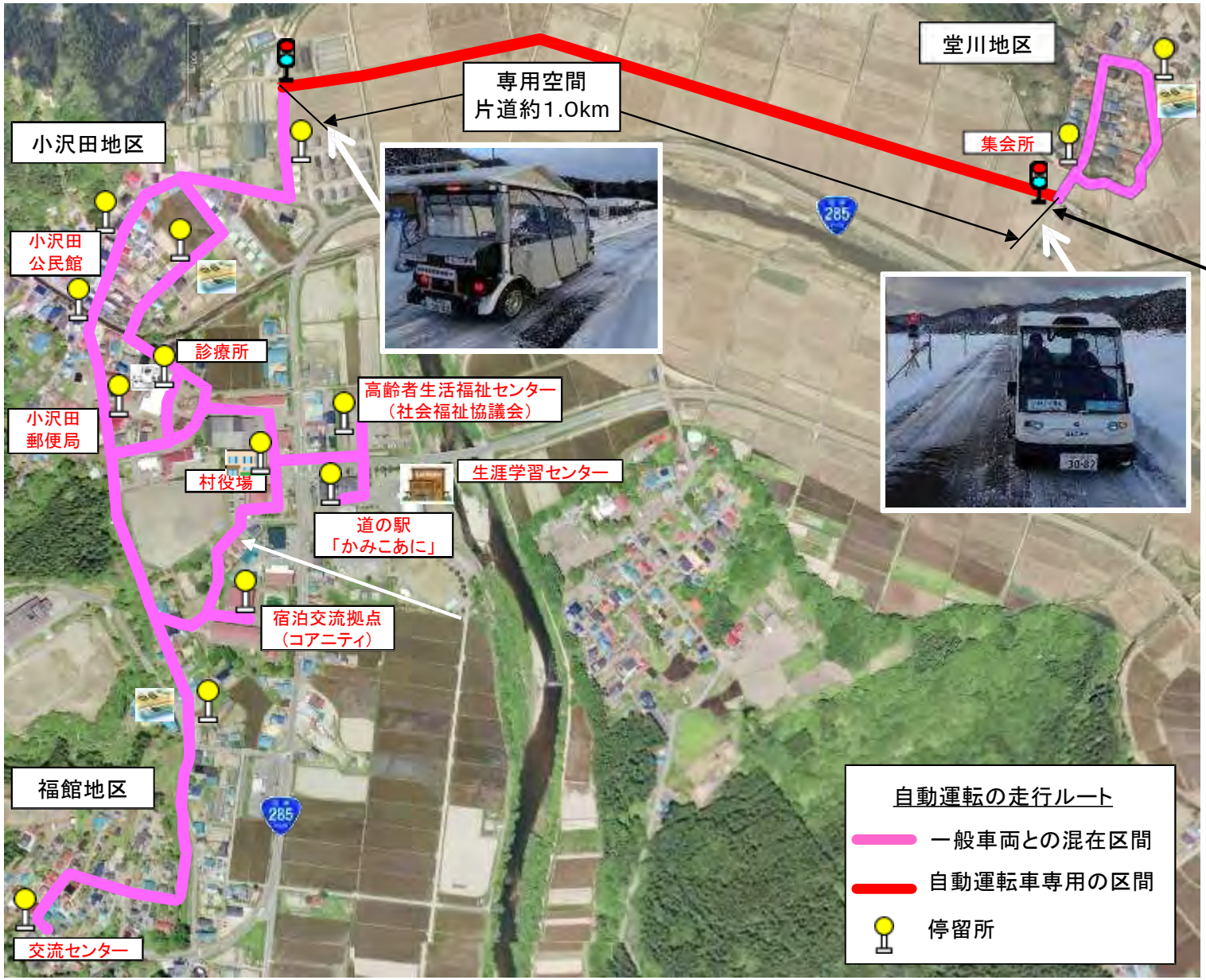


平成30年度 実証実験ルート（道の駅「かみこあに」を拠点とした実証実験）

国土交通省

H30．12／9～H31．2／1

延長約4km（片道）



©NTT空間情報

自動運転車両走行中に一般車両を進入させないため簡易信号を設置

通行車両へ迂回等の協力を促すため、看板を設置

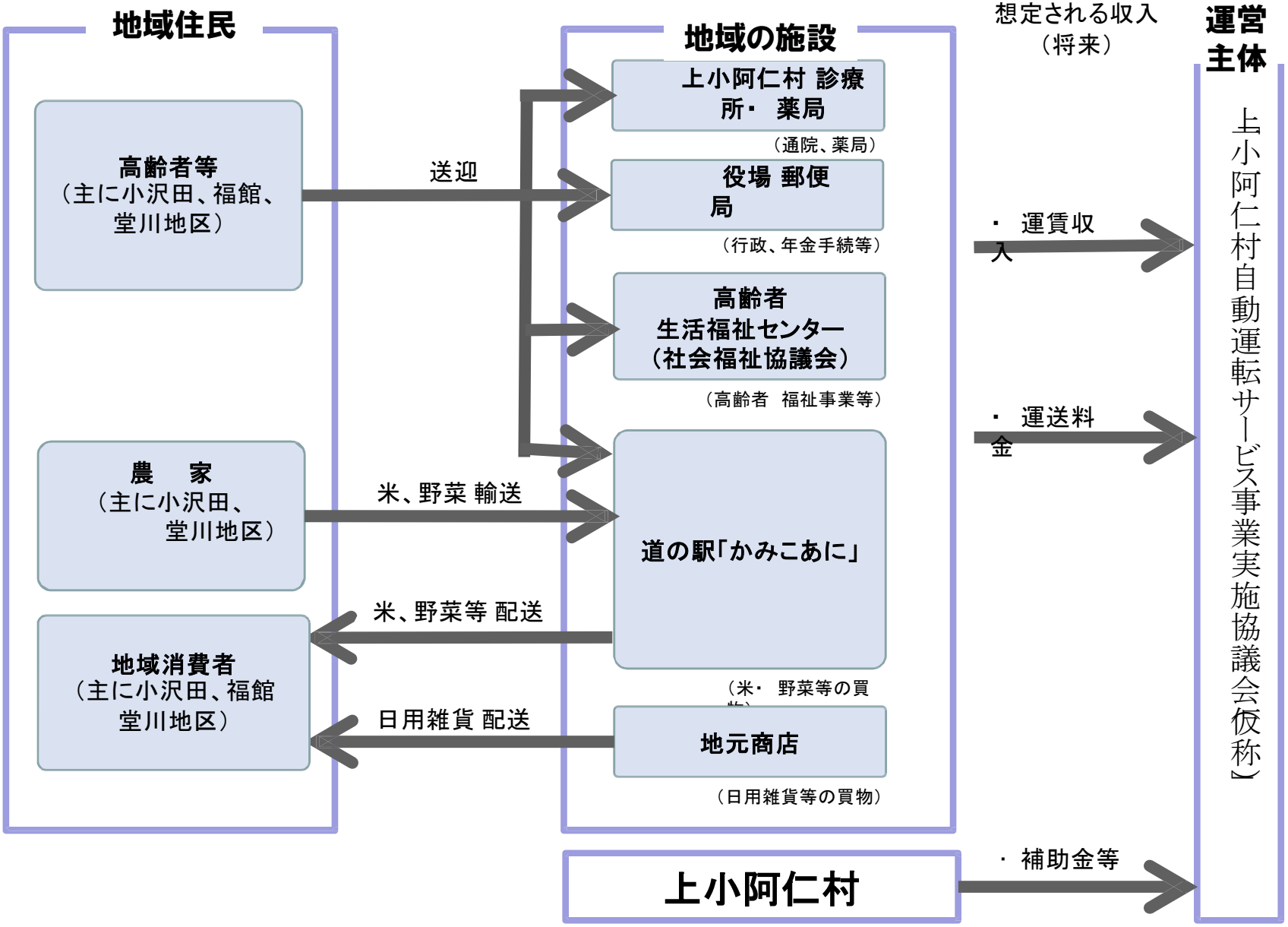
【実験車両】

○ヤマハ製（7人乗り）

【自動運転区間の構造】

○電磁誘導線を敷設、実験車両を誘導

自動運転サービスの将来のビジネスモデル（案）（道の駅「かみこあに」）

国土交通省

○ 高齢者等を道の駅「かみこあに」や診療所等へ送迎し、高齢者の日常的な生活の足を支援
○ 上小阿仁村や社会福祉協議会の実施する高齢者を対象とした社会福祉事業との連携
○ 貨客混載により、道の駅への農産物輸送、道の駅や地元商店からの商品配送で利便性を確保